

令和 5 年度 大学塾 第 1 ステージ 開催講座 報告

室町時代 足利将軍と三管領－斯波・細川・畠山－

5 月 15・22・29 日（月）の 3 回にわたり研修室 1 において開催された。応募者は 51 名、受講者は 44 名。出席者は第 1 回 39 名・第 2 回 40 名・第 3 回 38 名・合計 117 名であった。第 1 回と第 3 回は雨天で欠席者が多かった。講師は、國學院大學兼任講師で中世・近世史がご専門の平野明夫氏。

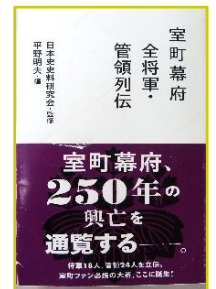


第 1 回は「室町幕府の確立（尊氏①～義量⑤）」。1333 年足利尊氏・新田義貞が挙兵して、鎌倉幕府が滅亡した。尊氏は 1336 年「建武式目」で幕府の方針を示し、1338 年征夷大将軍となり室町幕府がスタートした。

講義はまず室町幕府の特徴である管領の役割が説明された。管領は将軍を助け政務を総轄し、儀式や行事を執り行った。鎌倉時代の執権は実権を握っていたが、室町時代の管領は将軍の補佐的な役割であった。当初は足利家の補佐役の執事がそのまま幕府におかれたが、執事・細川頼之は 3 代将軍・義満が元服すると、将軍の親裁権と補佐役とを分離し、執事を管領に改め、命令系統を将軍→管領→守護に統一した。管領は室町時代を通じてほぼ斯波・細川・畠山の三氏が務めた。又、鎌倉時代には公家は京都・武家は鎌倉と別

れていたが、室町時代は御所（公家）も幕府（武家）も京都に置かれた。系図によると足利氏は清和源氏であるが三管領の斯波・細川・畠山氏もその一族である。鎌倉幕府を滅ぼした初代・尊氏から 5 代・義量までに室町幕府は確立した。この間 1336 年尊氏の光明天皇擁立に対抗し、後醍醐天皇は吉野に南朝を開き南北朝時代となるが、南朝第 4 代の後亀山天皇が北朝 6 代の後小松天皇に譲位して、1392 年義満の時に南北朝は統一された。

第 2 回は「将軍の専制から混乱へ（義教⑥～義澄⑩）」。4 代・義持は嫡子で 5 代の義満が死亡しても 6 代将軍を指名せず、義持の死後にくじ引きで決定することになった。義持の死の翌日石清水八幡宮神前で義円（後に義宣・義教）が選ばれ 6 代・義教が翌年に元服して即位した。義教は訴訟制度・軍事制度の変更や遣明船の復活などを行った。一方で大量の処罰を行うなど「万民恐怖の世」と言われた。結局、勢力削減を恐れた守護・赤松満祐に暗殺された。義教の子の義勝が 7 代となるが翌年死亡し、弟の義成が 8 代・義政となった。義政の妻は日野富子。義政は管領や有力守護を避け、近習を重用し、将軍権力の強化を狙うが、側近が離反し政治の混乱と社会不安が増大した。1467 年応仁の乱が起こる。東軍・細川勝元と西軍・山名宗全が将軍の後継者と畠山氏と斯波氏の家督争いで対立し、両者が 1473 年に死亡し、1477 年に 10 年にわたる長い騒乱は収まった。9 代は義政の子の義尚が 10 代は甥の義植（義材）が後継者になった。管領・細川政元は義植を廃して 11 代・義澄を擁立する（明応の政変）が、管領の役割は儀式が中心となり政治的な意味はなくなっていった。応仁の乱以降、幕府の権力は衰え戦国時代となってゆく。



第 3 回は「戦国時代の室町幕府（義晴⑫～義昭⑮）」。12～15 代は 11 代・義澄の子や孫が擁立されたが、15 代・義昭は 12 代義晴の次男で興福寺一乗院の門跡であった。兄の 13 代・義輝が三好義継に殺害されたが、義昭は織田信長の後ろ盾を受け、14 代・義栄の死去により、1568 年に征夷大将軍に任ぜられた。1573 年義昭は浅井・朝倉と結び反信長の挙兵をしたが、反信長勢力は次々に敗北して室町幕府は滅亡した。しかし、義昭は鞆（広島県福山市）へ移り征夷大将軍であり続け、本能寺の変の後は秀吉の許しを受け帰洛を果たす。1592 年秀吉の朝鮮出兵に随行したが、1597 年大阪城で死去し、足利将軍歴代の菩提寺である等持院に移された。60 歳であった。

受講者の言葉：室町時代における不安定な将軍家とその側近である政権を担う三管領、そしてそれを支える各守護大名、後継者争い、幕府政権内の権力闘争、そして領国で着々と勢力を貯えた守護代の軍事力増大による内乱が、応仁の乱へと移り、戦国大名たちの下剋上を開始され、大変興味深い講義でした。（糸井史郎）

令和5年度 大学塾 第1ステージ 開催報告

中世古文書講座 ～徳川家康関係の文書～

6月4日・11日・18日の日曜日に開催されました。講師は高梨真行氏（宮内庁三の丸尚蔵館 主任研究官・足立区在住）応募者は38名、第1回30名、第2回32名、第3回30名で延べ92名でした。今回の古文書講座は三河国の小領主から、織豊政権の大大名へ、そして天下統一を継承して江戸幕府を開き太平の世を築いた徳川家康について、家臣や側近など政権を支えた者達の文書や自筆書状から歴史的な事績を追い、大名そして天下人としての家康の実像に迫ります。

第1回・・・大名徳川家の文書 ～徳川家康朱印状

- ・徳川家康の生涯についての解説がありました。
 - 《家康の出自》家康は三河国の小領主松平氏の出身
 - 《今川氏帰属時代》今川義元の人質となり武将へと成長、桶狭間の戦いで今川氏から独立した。
 - 《織田氏との同盟》清州同盟により今川氏と対立、徳川改姓、三河の国持大名となる。
 - 《三河・遠江の大名》駿河は武田領、遠江は徳川領、三方原・長篠の戦い、三国支配の大大名へ
 - 《豊臣大名徳川氏》本能寺の変後の混乱に乗じ武田領を接收、駿河・遠江・三河、甲斐・信濃の五力国を支配する。秀吉との対立と和睦、小牧・長久手の戦い
 - 《関東大大名徳川氏》関八州の支配者となる。関ヶ原の戦いにより覇権確立
 - 《將軍そして大御所・徳川家康》征夷大將軍に任官し幕府を開く。
- ・古文書として徳川家康朱印状（印判状）3例が紹介された。
大名徳川氏の出す安堵・命令・法令・裁定などに関する決定事項を示した文書

第2回・・・家康家臣・側近の文書 ～年寄奉書、代官連署状から老中奉書

- ・徳川家康の家臣たちの解説がありました。
 - 《三河統一・三力国大名・永禄9年頃～》三備の軍制、旗本・馬廻、先手衆、東三河衆、西三河衆
 - 《五ヶ国大名・天正10年～》年寄衆・徳川四天王（酒井忠次、本多忠勝、榊原康政、井伊直政）
 - 《江戸移封・天正18年～》家臣への知行割による大名化、三河以来の家臣+家康の一門衆
 - 《將軍・大御所時代》本多正信（年寄衆）、伊奈忠次（秀忠の側近）大久保長安（家康の側近）
 - 《各分野における家康のブレーン》天海、崇伝（禪宗）、後藤庄三郎（金座）、林羅山（儒学者）
- ・古文書として徳川氏奉行印判状（朱印状）、徳川氏甲州奉行連署状、徳川氏奉行連署印判状（朽木古文書の内）、徳川氏年寄連署奉書（相良家文書の内）の4例が紹介されました。

第3回・・・家康の自筆書状 ～関ヶ原の戦い、家康宛の私信

- ・古文書における「書状」の評価についての解説がありました。
 - 《書状の基礎》手紙の事を指し、私信のスタイルをとりながらも、差出者が公的身分を有する場合は、公文書に準じる。月日のみで年号は付けない。公文書としての機能を有さない。
 - 《書状の構造》懸紙（本紙を包む紙）・本紙（ほんし）・重紙（じゅうし）・礼紙（らいし）
 - 《自筆と右筆》大名クラスの武家においては書役（右筆）を抱えている場合が一般的である。通常は右筆書、重要な内容や一族、親族などに出す場合は自筆
- ・古文書として徳川家康書状（2例）、徳川家康自筆書状の3例が紹介されました。

《受講者のご意見》

- ・実際の古文書を「翻刻」「書き下文」「語句・人物」と丁寧でわかりやすく、熱意にあふれ、生き生きした講座で興味深くお話を伺いました。有難うございました。
- ・時代背景や時代の流れの中で各古文書の持つ意味、意義がよくわかりました。このような取り上げ方で今後も古文書講座を開催してください。
- ・中世古文書はなかなか学習する機会がないのと、高梨先生の解説がとても詳しく勉強になります。
(篠原英也)



令和5年6月月例会 開催報告 (6月14日)

講演会

令和5年度足立区生涯学習に関する施策:足立区生涯学習支援課 課長 内田 和男様
生涯学習センターの重点事業について:足立区生涯学習センター 副所長 鳥塚 春樹様

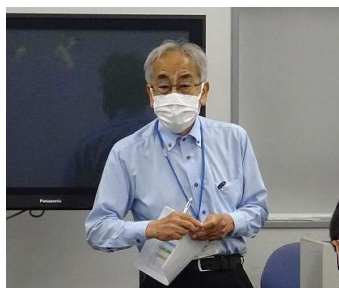
6月の月例会は、足立区生涯学習支援課と足立区生涯学習センターに講演をお願いいたしました。最初に足立区生涯学習支援課長の内田和男氏より新任のご挨拶と自己紹介があり、「足立区生涯学習に関する令和5年度施策」についてお話を頂きました。転任前の3月まで都市建設部の町づくり担当で西新井・梅島地区の開発をされていました。建築技術職のため、生涯学習についての知識もなく、この2か月間必死に勉強されたそうです。



足立区においては、生涯学習に関する体系的な施策はないが、ちょい足しで心豊かに生きようとの取り組みがあります。令和2年から文化、読書、運動・スポーツの三分野が協力して「ちょいスポ・ちょいカル・ちょい読み」を地域学習センターや図書館で実践しています。人生100年時代を迎え「楽しさに気づき、深め、広げ、心豊かに生きる」を共通理念に文化芸術・読書・ス



スポーツ推進計画を進めています。リカレント…自分のスケジュールに合わせて自ら決めて学ぶ。リスキリング…働きながらスキルを身につけキャリアアップするなどについても説明があり、生涯学習は緩やかなつながりでもよく、楽しいことを見つけて長く続けていくことが大事でしょうと締めくくられました。



次に足立区生涯学習センターの副所長 鳥塚春樹氏より、令和5年度重点事業についてお話し頂きました。センターでは学び直し支援事業、「あだち100年大学」に取り組んでおり、2か月間の成果を発表されました。5年前のアンケ



ートで、学び直しについては年代に関係なく6割近くの人たちが関心を示しており、期待もされていました。4月より専門性の高い多様な学びを通して心豊かで生きがいのある暮らしや働き方につなげることを目的に「学び直し博士」の認定や「学び直しカード」の発行、その特典などを作って講座を開始されました。8講座終了する中で、すでに3人の方が特典を獲得されているそうです。学ぶチャンスと環境があれば、学び直したい区民はそれなりにおられるので、今後も区民に学びの場を提供していきたいとのことです。



最後に生涯学習支援第二係長の徳山茂正氏にご自身の生涯学習のお話をさせて頂きました。足立区生まれ足立区育ちで、昔の足立区をよくご存じです。以前から徳川將軍家の墓巡りをされていたそうですが、近年大切な友人を二人亡くし、墓巡りが増えたとのこと。また、最近では傷ついた野菜や形の悪い野菜など、今までは廃棄されてきたものを使って料理し提供する、いわばSDGsを実践している居酒屋を見つけながら巡っているそうです。楽しくないと続かないので、自分も楽しみながら続けていきたいとのこと。

本日は、3名の方のお話を伺い、参加された14名の会員のみなさんもそれぞれに生涯学習について感ずるものが多々あったのではないかと思います。

(ボランティア活動推進部)

みんなの広場

季節の花々を追って

私の趣味は写真です。都会の様子・街の行事・旅行へ行けば景色、などいろいろ撮りますが、普段は『花』の写真が殆んどです。

何のために撮るの？ はい、季節を感じ色や光を楽しみますが、最終的には「ボケ封じ」と思っています。

春から夏までの半年に咲く花を数えると、次のようになります。

①福寿草 ⇒ ②蠟梅 ⇒ ③クリスマス・ローズ ⇒ ④梅 ⇒ ⑤スイセン ⇒ ⑥ヒヤシンス ⇒ ⑦ネモフィラ ⇒ ⑧桜 ⇒ ⑨モクレン ⇒ ⑩柴桜 ⇒ ⑪ミモザ ⇒ ⑫牡丹 ⇒ ⑬藤 ⇒ ⑭ポピー ⇒ ⑮つつじ ⇒ ⑯チューリップ ⇒ ⑰バラ ⇒ ⑱花菖蒲 ⇒ ⑲紫陽花 ⇒ ⑳睡蓮。菜の花や外にも一覧に入れるのを忘れた花がたぶんありますね。順序は多少怪しいですが、殆どが写真の対象なのです。

ですから毎週のようにカメラを持って出掛けます。いやぁ忙しい！ 特に今年は例年より半月も早く咲くので追いかけてられます！ 俳句の季語は既に時節に遅れている状態です。

足立区は公園が多くそれぞれに花が見られます。ただ上記の中でも芝桜とネモフィラは、埼玉・茨城に大規模な花畑がありますのでそちらにも行きます。

自分の写真は整理してプリントします。A4やA3に大きくプリントして周囲の人に見てもらうのですが、花も写真も興味ない方もいますね。迷惑だったらごめんなさい、ハハハ。

夏から冬にかけても次々と花が咲きます。元気を出して追っ掛けます。 (神戸 明)



2月 大谷田公園 (右下に小さく島忠の看板)



3月 日立市かみね公園



4月 清和バラ園



5月 しょうぶ沼公園



6月 松戸市 本土時

令和5年6月 運営委員会 報告・連絡

日時：令和5年6月1日(木) 14:30~

場所：生涯学習センター：5階 研修室 4

代表挨拶：報告および提案

- ① 5月23日の令和5年度通常総会へのご出席ありがとうございました。
令和4年度事業報告・活動報告、令和5年度事業計画・予算が承認可決され、理事・監事は提案通り選任されました。楽学の会はNPO法人設立20周年を迎えました。今後とも継続できるよう会員の皆様と協力して進めて参りたいと思います。よろしくお願ひいたします。
- ② 5月30日、足立区生涯学習支援課へ令和4年度「あだち区民大学塾」講座実施報告書を提出、説明致しました。6月1日、生涯学習センター平野所長に提出し説明致しました。
- ③ 6月「月例会」は、6月14日(水)に足立区生涯学習支援課、内田課長、生涯学習センター鳥塚副所長より令和5年度施策・事業について講演をいただきます。皆様の出席をお願いいたします。

議事

(1) 情報交換

・足立区生涯学習支援課 内田課長、徳山係長へ大学塾講座実施報告書持参、説明 5/30(火)

(2) 通常総会・月例会開催について

・5月 令和5年通常総会 5月23日(火) 15時~16時 研4
出席者16名、委任状11名 計27名 提案議案、理事・監事選任は承認されました。

終了後 懇親会開催「らくや」14名 参加。

・6月 月例会 6月14日(水) 15時~ 講演会 研4：多数の会員の出席をお願いします。

令和5年度足立区生涯学習に関する施策：足立区生涯学習支援課長 内田 和男様

生涯学習センターの重点事業について： 生涯学習センター副所長 鳥塚 春樹様

・7月 月例会 7月14日(金) 15時 懇談会「どうする 楽学の会」これからの会について懇談。

(3) あだち区民大学塾：講座企画会議 6/1(木)、7/3(月)、講座検討会議 6/14(水) 7/14(金)

・5月 室町時代足利将軍と三管領 応募者51名 受講者44名 平野 明夫講師 5/15.22.29(月)

・6月 中世古文書講座 徳川家康関係の文書 応募者37名 高梨 真行講師 6/4.11.18(日)

・7月 遠藤周作生誕100年記念講座遠藤周作の遺言 応募締切 6/20 原山 建郎講師 7/4.11.18(火)

(4) 各部局からの報告および提案

① 学習支援部：部会 6/14、

・大学塾講座実施報告書 製本作業協力への御礼あり。

② ボランティア活動推進部：部会 6/7、

・総会後の懇親会への出席御礼あり。

・サークルフェア2023(10/7.8) 参加する、プログラムに広告を掲載することで了解得る。

・2023あだちNPOフェスティバル(11/18.19 エルソフィア他) 参加締切日 6/9

→11/19 参加方向で詰める。

③ 事務局：ニュース発送 6/2、部会(経理処理) 6/13

・ニュース発送時に大学塾講座実施報告書同封、年会費納入依頼。

・東京都へ事業報告書等(事業報告、収支計算、財産目録、役員名簿) 提出(6月末まで提出)、

役員変更報告(7/1~)：新任理事、監事の就任承諾書、誓約書、住民票添付。

④ 広報グループ：楽学ニュース発行、ホームページ、メルマガは6/1に更新、アップした。

・新webと旧webの掲載分担につき、神戸さんが調整する。

(5) その他

・センター講座：NHK 関連文化講演会「ガウディとサグラダファミリア展」7/23(日)のスタッフ募集

次回 運営委員会 7月3日(月) 14:30から(研4)

令和4年度 あだち区民大学塾 「講座実施報告書」足立区所管へ報告



令和4年度あだち区民大学塾の「講座実施報告書」が完成いたしました。会員の皆様には5月総会、楽学ニュース発送時に同封しております。5月30日足立区生涯学習支援課に持参し、内田課長に報告書の内容等について説明を行いました。講座実施報告書の作成に当たり、多くの会員に参加して頂き、立派な報告書が出来上がりました。ありがとうございます。



なお、当会に関係する方々にも、楽学ニュースと一緒に
お送りしました。
(事務局 福田哲郎)

◎講座名：行動経済学者が考える 投資とその心理 あだち 100 年大学講座

日 時：8/20(日) 午前 10 時～正午
 対 象：16 歳以上の方
 会 場：5 階 研修室 1 (対面)
 受講料：800 円
 定 員：対面 30 人、オンライン 20 人
 (どちらも事前申込先着順)
 講 師：川西 諭氏
 (上智大学経済学部経済学科 教授)
 内 容：投資とその心理について、伝統的経済学とは違う新しい学問「行動経済学」の考え方など、事例を通して学びます。

◎講座名：科学は生活にどう役に立つのか 科学のトリセツ あだち 100 年大学講座

日 時：8/22(火) 午後 1 時 30 分～3 時
 対 象：16 歳以上の方
 会 場：5 階 研修室 1 (対面)
 受講料：無料
 定 員：対面 40 人、オンライン 20 人 (どちらも事前申込先着順)
 講 師：谷口 正樹氏
 (産業技術総合研究所 柏センター所長)
 内 容：科学は難しい、と避けていませんか？実は科学の知識は普段の生活にとっても役に立つのです。この講座では、科学的な考え方がいかに大事かを、特に「科学的データの正しい見方」「身の回りのリスクの正しい捉え方」「トンデモ科学への正しい対策」等を中心に、分かりやすい事例紹介を交えて解説します。

お申込みは：電話(03-5813-3730) 又は直接窓口
 インターネット [近所 de まなびナビ] で検索
 イベント・講座情報→講座予約システム

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため講座の中止、延期の場合もございます。予めご了承ください。

令和 5 年 7 月「月例会」のご案内

7 月 14 日(金) 午後 3 時～5 時 研修室 4
 テーマ：懇談会「どうする 楽学の会」

令和 5 年 8 月「月例会」は休会

8 月の月例会は「猛暑期」のため中止します。



飛土手の紫陽花

皆様の積極的な参加をお待ちしています。
 (ボランティア活動推進部)

- ◎ 運営委員会
6 月 1 日(金) 午後 2 時半～4 時 研修室 4
- ◎ 月例会
6 月 14 日(水) 午後 3 時～5 時 ワークルーム
- ◎ 学習支援部
6 月 14 日(水) 午後 1 時～2 時 ワークルーム
- ◎ ボランティア活動推進部
6 月 7 日(水) 午後 2 時～4 時 ワークルーム
- ◎ 事務局
6 月 2 日(金) 午後 2 時～4 時 ニュース発送
6 月 13 日(火) 午後 2 時～4 時 ワークルーム
- ◎ 広報グループ
メール会議
- ◎ 大学塾講座検討会議
6 月 14 日(水) 午後 2 時～3 時 研修室 4
- ◎ 大学塾講座企画会議
6 月 1 日(月) 午後 1 時半～2 時半 研修室 4
- ◎ 生涯学習センター 休館日
6 月 12 日(月)

★お問い合わせ & ご意見

- ◎ 「楽学の会」の運営に関するお問合せ
事務局 福田哲郎 電話:090-3207-8444
E-Mail : tefukuda2002@ybb.ne.jp

編集後記

脱炭素化社会に向けての取り組み(その 7) 都市の電子廃棄物は宝の山

私たちの日常生活で、スマートフォン、パソコン、デジタルカメラ、タブレットなどの電子機器は、日常生活に欠かせません。暮らしが便利になり都市化も進めば電子機器のごみが増えます。それらのごみには金属資源が多数含まれ、「都市鉱山」と呼ばれています。しかし、その電子廃棄物はインフラが整っておらず処理を可能とする国が数少ないため、SDGs の理念とは正反対の持続不可能な西アフリカやインドネシアなどのサステナビリティの観点からも適切な方法で処理する準備ができていない国々に世界中から集められ「最悪の電子廃棄物の墓場」と呼ばれています。現地では電子廃棄物の大半が焼却や埋め立て処分されていて、そこからは、水銀、鉛、カドニウム、フロンなどの有毒ガスが排出されています。これらは、生物多様性にとって大きな問題で、他にも大気汚染や、水質・土壌汚染の原因にもなっています。例えば電子廃棄物の焼却で残る臭素系難燃剤や重金属が土壌に染み込むと地下水や作物が汚染される。重金属によって土壌が汚染されると作物がその毒を吸着しやすくなり、病気や収穫量の減少などの環境への影響を引き起こします。世界の電子廃棄物の発生量は、2019 年 5,360 万トン、2022 年には、5,940 万トンまで上昇。さらに 2030 年までには 7,400 万トン以上に達し不適切に廃棄されると予想されています。2019 年の電子廃棄物のうちアジアの発生量は 2,490 万トンで世界最多、増加率も世界最大です。近年ようやく廃電子部品には貴重な鉱物が大量に含まれている「都市宝山」と注目され始め、地球温暖化防止にも貢献することから、これらの部品をリサイクルすることが行われています。

また、電子廃棄物の増加原因としては、電子部品の寿命は 40～50 年でしたが、1990 年代には 20～25 年と短くなり、さらに 2000 年代では EOL(サポート終了)が 10 年と短縮され、現在では 4～5 年の寿命を持つ電子部品も多くなって来ていることも要因として挙げられます。
 (次号へつづく)

金子 記